

(6) 交通特性

人口の伸びを上回る自動車保有台数の増加

県人口は、平成元年から平成11年にかけて約185万人から約186万人とほぼ横ばいに推移しているのに対し、自動車保有台数は、約92万台から約122万台へと大きく伸びている（伸び率1.33）。

熊本県内の自動車保有台数の伸び

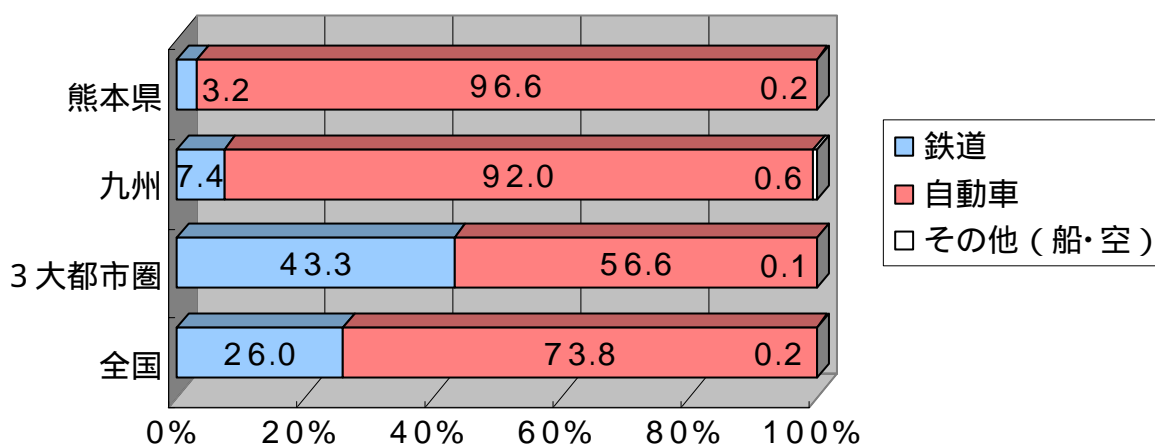
	平成元年	平成11年	伸び率
人口	約185万人	約186万人	1.01
自動車保有台数	約92万台	約122万台	1.33

資料：熊本県統計年鑑・道路統計年報

自動車交通への高い依存度

熊本県における自動車分担率は96.6%で、全国平均の73.8%、九州平均の92.0%に比べて極めて高い。総じて公共交通機関の発達していない熊本県では、自動車交通への依存度が極めて高い。

旅客地域流動調査における利用交通機関の分担率比較



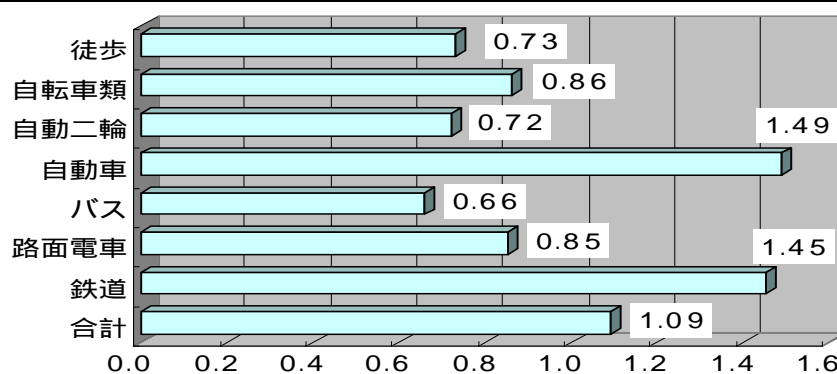
資料：平成10年度旅客地域流動調査

伸び悩むバス・路面電車の利用者数

熊本県における交通手段は、自動車（自家用車）に大きく依存しており、公共交通（バス・路面電車）の利用が伸び悩んでいる。

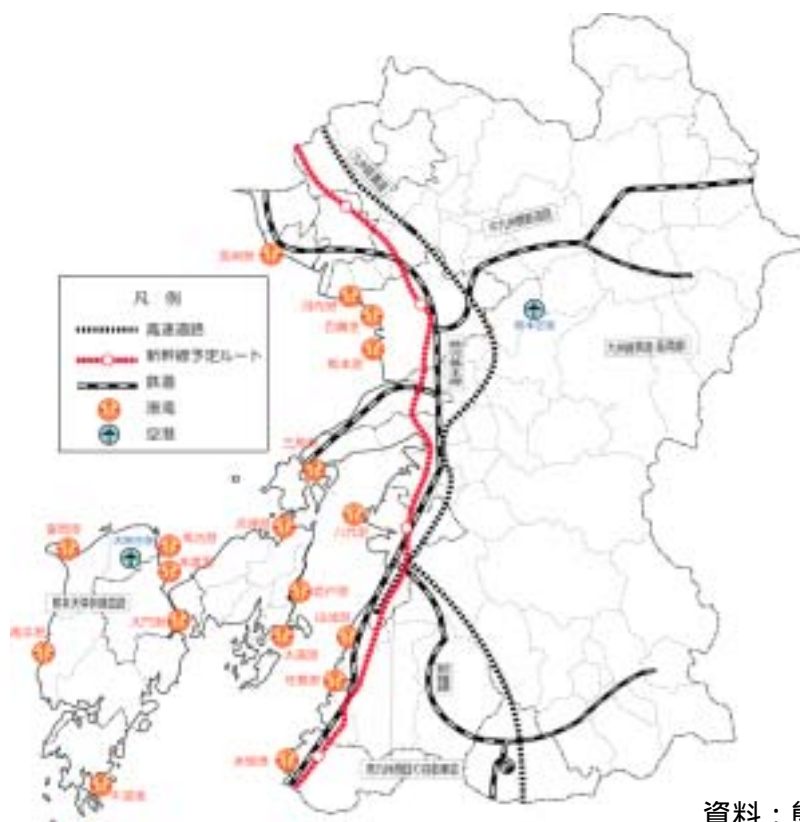
熊本都市圏での交通手段別の利用者数について、昭和59年に対する平成9年における変化をみると、自動車利用（1.49）の伸びと対照的に路線バスの利用者（0.66）と路面電車の利用者（0.85）が大幅に減少している。

熊本都市圏における交通手段別の利用者数の変化（H9 / S59年）



資料：第3回パーソントリップ調査データ

熊本県内の鉄軌道、空港、主要な港湾の分布



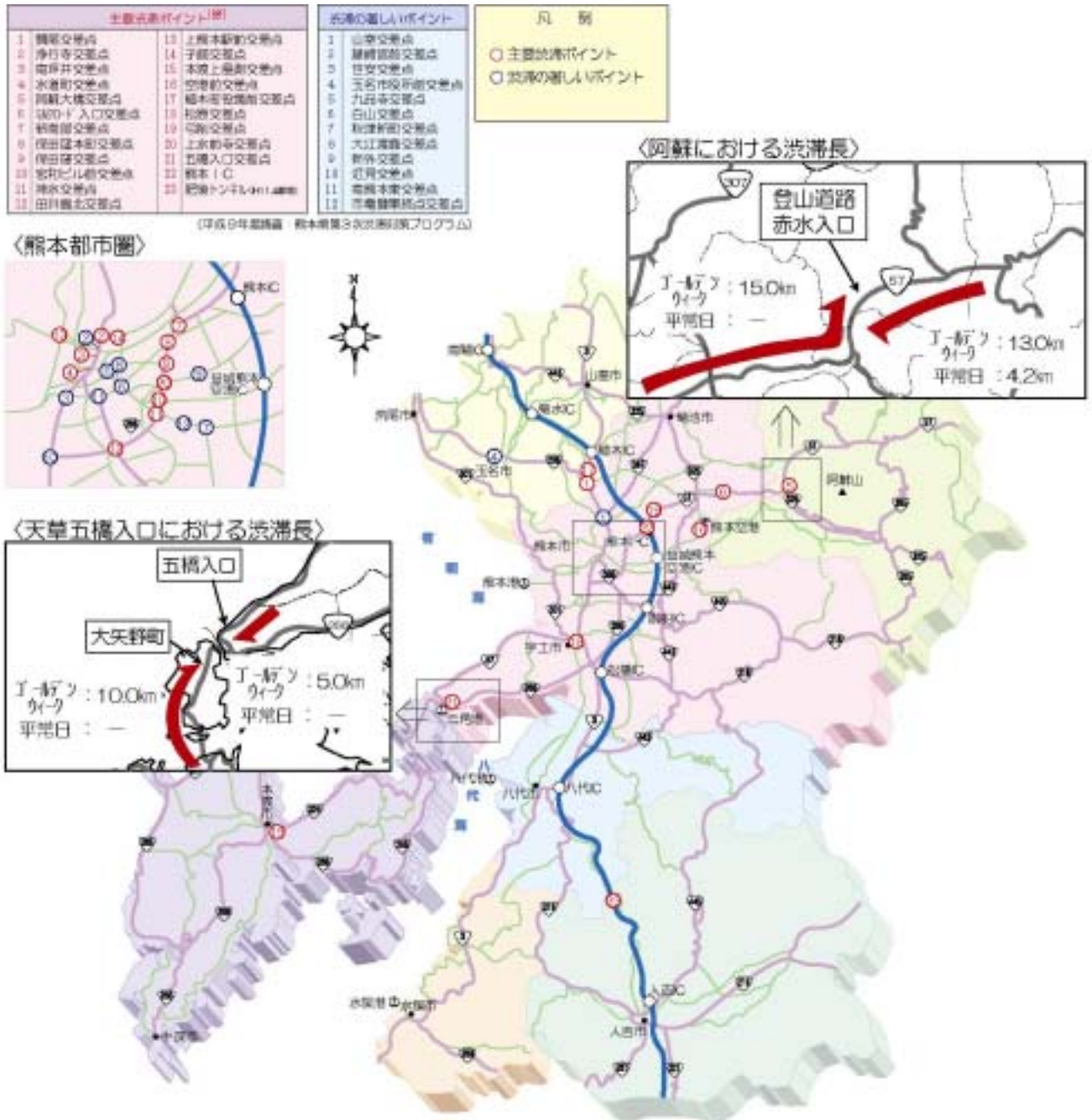
資料：熊本県道路建設課

頻繁に発生する交通渋滞

熊本都市圏あるいは県内の幹線道路等で、交通渋滞が頻繁に発生しており、主要渋滞箇所が県内35箇所があり、そのうちの28箇所が熊本都市圏に集中している。

特にゴールデンウィークには、主要観光地である阿蘇や天草において激しい渋滞が発生している。

熊本県内における主要渋滞箇所

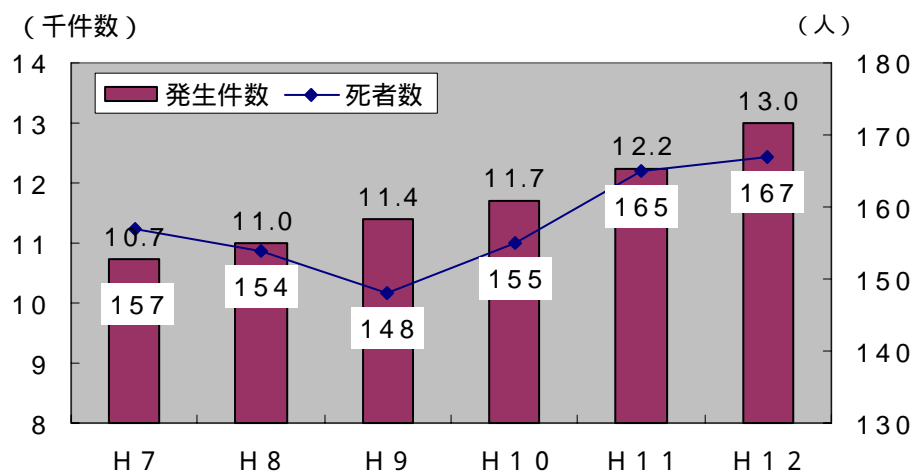


資料：第3次渋滞対策プログラム
交通渋滞調査（国土交通省）
熊本都市圏交通実態調査（熊本県警）

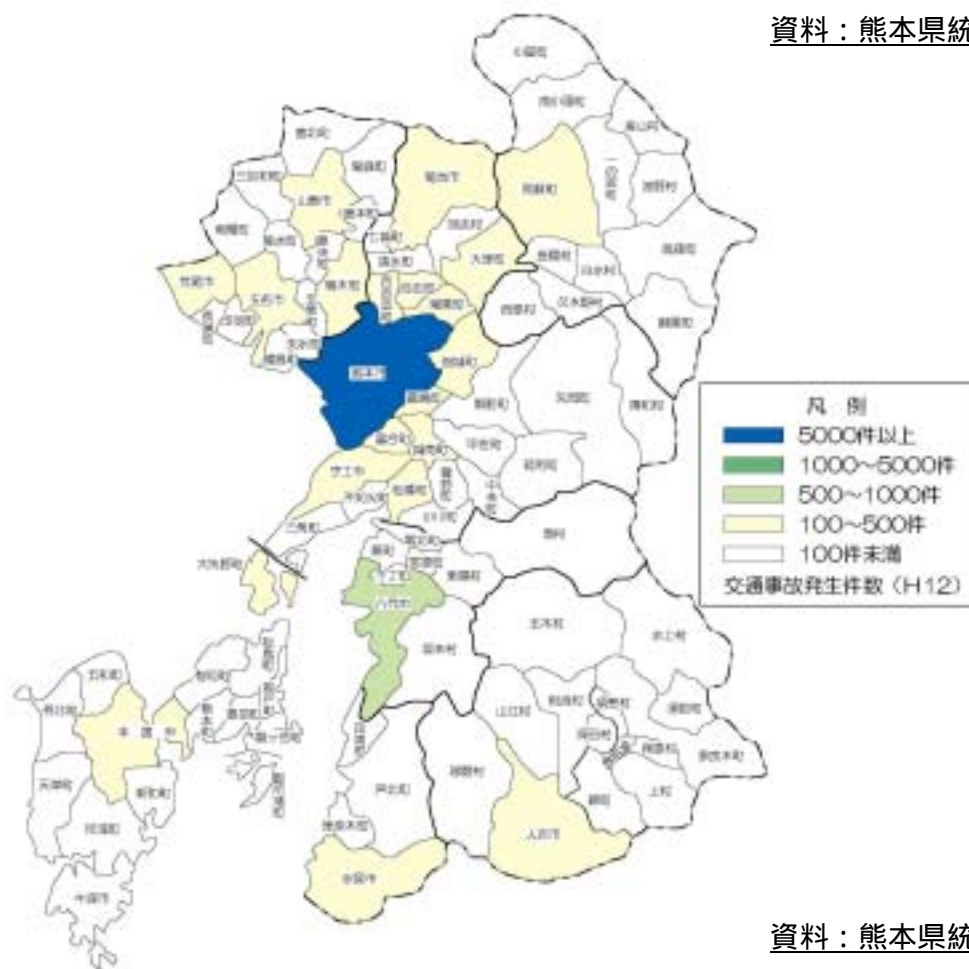
年々増加する交通事故発生件数

熊本県内における交通事故の発生件数は、年々増加傾向にあり、平成12年で約1.3万件的事故が発生しており、死傷者数は167名となっている。

熊本県内における交通事故の発生状況



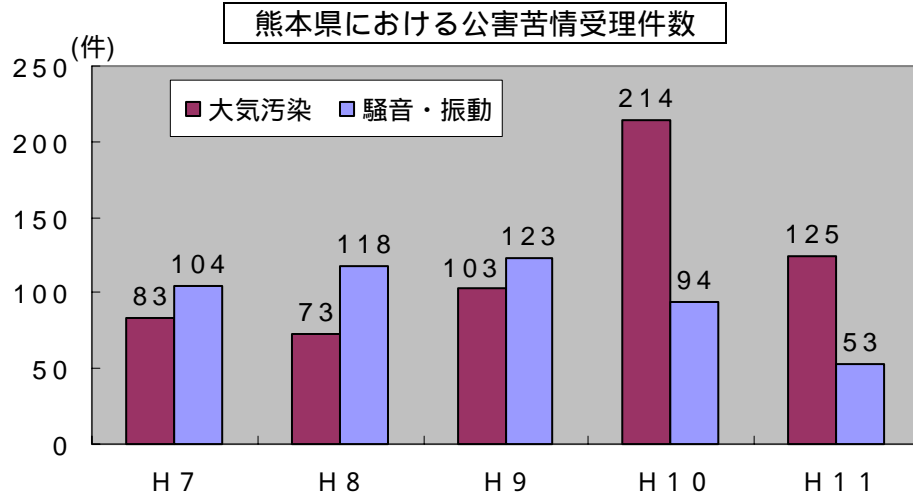
資料：熊本県統計年鑑



資料：熊本県統計年鑑

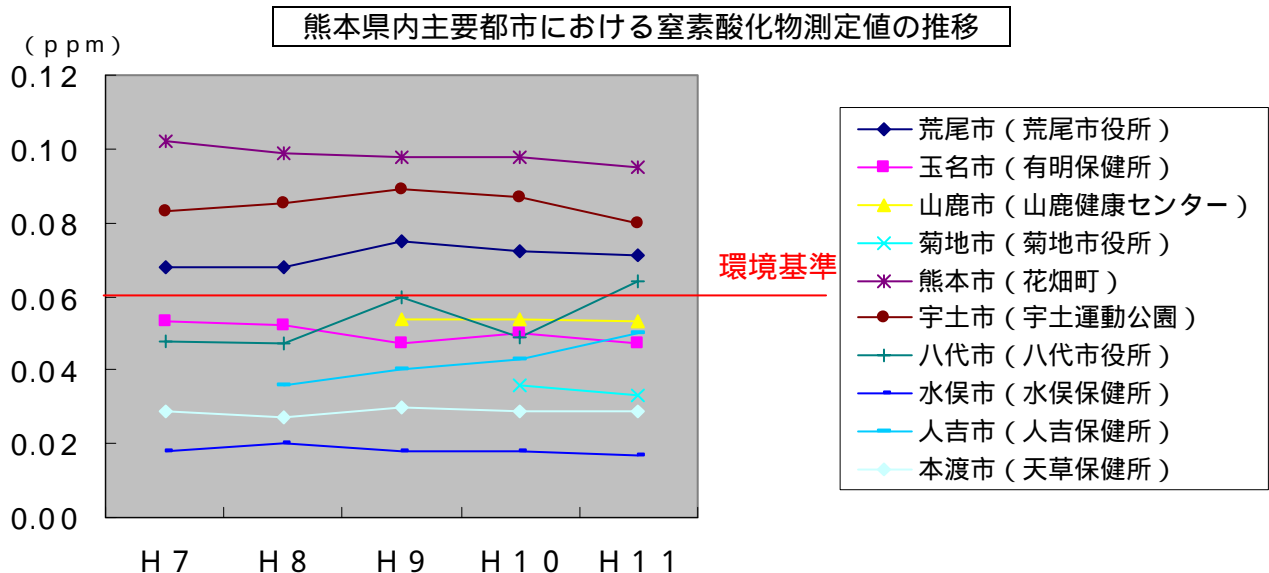
自動車利用の増加に伴う環境の悪化

県内における大気汚染、騒音・振動の公害苦情受理件数は、減少傾向に向いているものの、いまだ100件を超える苦情が発生しており、自動車交通の増加に伴う影響も少なからず考えられる。



資料：熊本県統計年鑑

自動車利用の増加に伴い、熊本県内では、平成11年時点で荒尾市、熊本市、宇土市、八代市の測定局で環境基準の0.06ppmを上回る窒素酸化物が検出されており、環境悪化を招いている。



日平均98%値で表示

資料：熊本県統計年鑑